

## H22 年度北陸総合通信局調査研究会現地調査及び無線免許申請打合概要（案）

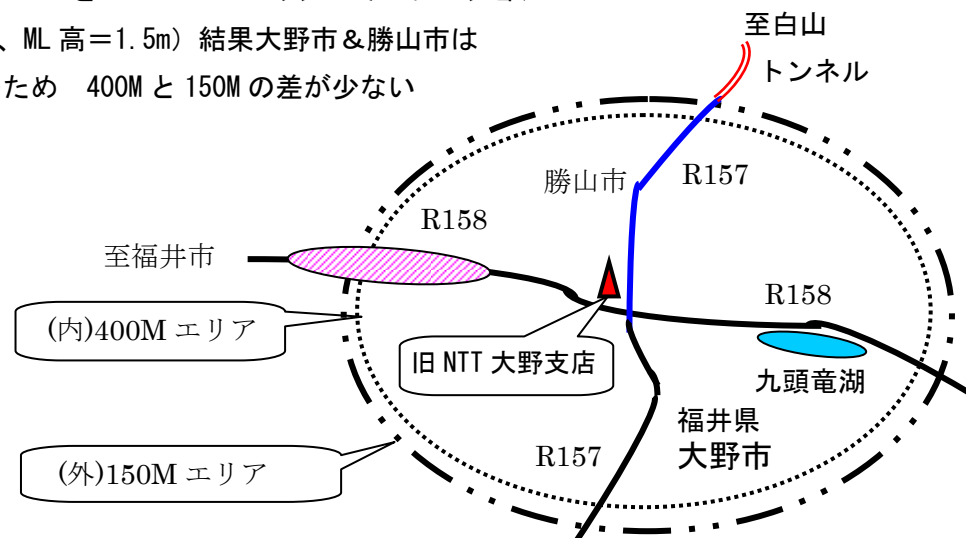
H22. 7. 30


北陸総合通信局「150MHz 帯アナログ簡易無線局用周波数におけるデジタル方式との周波数共用に関する調査検討会（以下、調査検討会）」会に於ける現地試験及び秋の公開実験に関し、7月27日（火）福井県大野市：旧 NTT 大野支店を中心に現地調査を行った。

又、7月28日（水）北陸総合通信局会議室において、企画調整課、陸上課及び調査検討会関係者を交え実験局について打ち合わせた。

## 1. 福井県大野市：旧 NTT 大野支店関係報告

- (1) 建物位置関係の報告は、別途報告。
- (2) 150MHz と 400MHz のシミュレーション  
(FB 高=30m、ML 高=1.5m) 結果大野市&勝山市は  
盆地の中のため 400M と 150M の差が少ない



- (3) 旧大野支店横から勝山市北部 R157 トンネル間を 350M 登録局 DCR で調査した結果、ほぼ、メリト(M) 4~M5 であった。( — 青線部分)  
150M/400M の走行実験時差が出る場所選定が問題。<現地は銀扇産業株>  
<R158 合線沿いの大野市—福井市間を検討> (  部分)

## 2. 実験局免許申請（含公開実験）

- (1) 申請人は調査検討会（座長：藤元美俊准教授）とする。
- (2) 代理人は情報通信事業協同組合（鈴木様）とする
- (3) 副代理人は北陸電子株式会社とする。
- (4) 副々代理人は（社）全国陸上無線協会北陸支部とする。
- (5) 現在の流れから、電子申請とする。（但し、事前に紙による審査を行う。）
- (6) 実験局申請数
  - (①アナログ：2件4台、②デジタル：3件7台、③400M—DCR：1件3台)
  - ・ 実験局はアナログ2社4台/デジタル（基礎実験用）2社4台
  - ・ 公開実験用<画像伝送用>1社2台
  - ・ 中継実験用デジタル無線機連絡用上記2台の他に追加1台（上記基礎実験用に同じ）
  - ・ 中継用 400M—DCR：3台 <本 DCR の免許申請方法は北陸総通局で検討する>